



平成25年9月20日

国土交通省富士砂防事務所

お知らせ

1. 件名

「富士山山体物理探査」の実施について

2. 概要

富士山は、過去に活発な噴火活動を繰り返して成長してきた活火山です。

平成16年6月に、「富士山ハザードマップ検討委員会」による『富士山火山防災マップ』が公表され、これに基づき各関係機関で火山防災対策の検討が進められています。

富士砂防事務所でも火山防災対策を検討する上での基礎調査の一環として、『富士山火山防災マップ』に示されている火口形成の可能性がある範囲において、空中物理探査という調査方法を用いて山体内部の地質構造把握を目指しております。

今回、富士砂防事務所では、「富士山山体物理探査」を行うにあたり、調査方法及び器機の見学説明会を実施いたします。

3. 実施日時

平成25年9月30日（月） 13:00～

4. 実施場所

大沢扇状地 大沢第2ヘリポート（別紙1）

5. 資料

「富士山山体物理探査について」（別紙2）

6. 資料配付先

静岡市政記者クラブ、富士宮市記者クラブ、富士市記者クラブ、富士吉田市記者クラブ

7. その他

取材を希望される方は下記まで事前に申し込みをお願いします。

8. 問い合わせ先

国土交通省中部地方整備局富士砂防事務所調査課

調査課長 大森 徹治

火山対策計画係長 山根 宏之

TEL 0544-27-5387

実施場所位置図



富士山山体物理探査について

富士山山体の地質調査のためにヘリコプターを用いた調査（空中物理探査）を実施します。調査は、地上に設置したアンテナから電気を流し、地下で発生する磁場を空中から測定します。

◆ヘリコプターによる調査の内容

ヘリコプターから吊り下げたセンサーにより磁場を測定することにより、「地盤の電気の流れやすさ」を知ることができます（空中電磁探査）。電気の流れやすさから、地下深部の地質構造を推定します。

◆調査期間

平成25年9月26日～10月31日の間

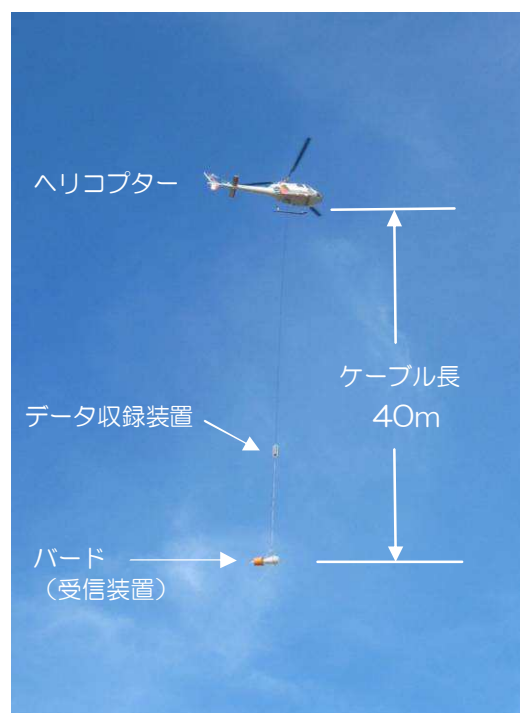
天候などにより飛行できない場合は、期間を延長します。飛行できない気象条件とは、雨が降っている、風が強い、霧や雲で視界が悪い、などの場合です。このような天候の場合は飛行を行いません。

◆調査場所

富士山山体 調査面積 約120km²



◆調査位置図



◆調査方法